別表３　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 　 （Ａ４）

建築物以外のものに係る解体工事又は新築工事等（土木工事等）

分別解体等の計画等

|  |  |
| --- | --- |
| 工作物の構造（ 解 体 工 事 の み ） | □鉄筋コンクリート造□その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 　　 ） |
| 工事の種類 | □新築工事　□維持・修繕工事　□解体工事 |
| □電気　□水道　□ガス　□下水道　□鉄道　□電話□その他（　　　　　　　　　　　　　） |
| 使用する特定建設資材の種類（新築・維持・修繕工事のみ） | □コンクリート　□コンクリート及び鉄から成る建設資材　□アスファルト・コンクリート　□木材 |
| 工作物に関する調査の結果 | 工作物の状況 | 築年数　　　　　年 |
| 周辺状況 | 周辺にある施設　□住宅　□商業施設　□学校　□病院□その他（ 　　　　　　　　　　　　　 　　）敷地境界との最短距離　約　　　　　　ｍ |
| 工作物に関する調査の結果及び工事着手前に実施する措置の内容 |  | 工作物に関する調査の結果 | 工事着手前に実施する措置の内容 |
| 作業場所 | 作業場所　□十分　□不十分 |  |
| 搬出経路 | 障害物　　□有（　　　　　　）　□無前面道路の幅員　約　　　　　　ｍ通学路　　□有　□無 |  |
| 石　綿(アスベスト)（解体・維持・修繕工事のみ） | □有 | 特定建設資材に付着している | □建材レベル１（例：吹付け石綿） | 石綿に関する諸官庁届出【大気汚染防止法】□届出済又は届出予定【労働安全衛生法･石綿障害予防規則】□届出済又は届出予定 |
| □建材レベル２（例：煙突の石綿含有耐火被覆材） |
| □建材レベル３（例：石綿含有ビニル床タイル） |
| 特定建設資材に付着していない | □建材レベル１（例：鉄骨等への吹付け石綿） |
| □建材レベル２（例：配管エルボの保温材） |
| □無 | □建材レベル３（例：スレートボード） |
| その他（石綿除く） | □有 |  |  |
| □無 |
| 工程ごとの作業内容及び解体方法 | 工　　程 | 作　業　内　容 | 分別解体等の方法（解体工事のみ） |
| ①仮設 | 仮設工事　　　　　　□有　□無 | □手作業□手作業・機械作業の併用 |
| ②土工 | 土工事　　　　　　　□有　□無 | □手作業□手作業・機械作業の併用 |
| ③基礎 | 基礎工事　　　　　　□有　□無 | □手作業□手作業・機械作業の併用 |
| ④本体構造 | 本体構造の工事　　　□有　□無 | □手作業□手作業・機械作業の併用 |
| ⑤本体付属品 | 本体付属品の工事　　□有　□無 | □手作業□手作業・機械作業の併用 |
| ⑥その他（　　　　　　　　　　） | その他の工事　　　　□有　□無 | □手作業□手作業・機械作業の併用 |
| 工事の工程の順序（ 解 体 工 事 の み ） | □上の工程における⑤→④→③の順序□その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 ）　その他の場合の理由（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 ） |
| 工作物に用いられた建設資材の量の見込み　（解体工事のみ） | 　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　トン |
| 廃棄物発生見込量 | 特定建設資材廃棄物の種類ごとの量の見込み（全工事）並びに特定建設資材が使用される工作物の部分（新築・維持・修繕工事のみ）及び特定建設資材廃棄物の発生が見込まれる工作物の部分（維持・修繕・解体工事のみ） | 種　　類 | 量の見込み | 使用する部分又は発生が見込まれる部分　（注） |
| □コンクリート塊 |  トン | □①　□②　□③　□④□⑤　□⑥ |
| □アスファルト・コンクリート塊 |  トン | □①　□②　□③　□④□⑤　□⑥ |
| □建設発生木材 |  トン | □①　□②　□③　□④□⑤　□⑥ |
| （注）①仮設　②土工　③基礎　④本体構造　⑤本体付属品　⑥その他 |
| 備考 |

□欄には、該当個所に「レ」を付す。又は■とする。　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　【平成３０年４月版】